

糖尿病と動脈硬化

〈糖尿病とは〉

糖尿病とは、血糖値が慢性的に高くなる病気のことです。血糖値は血液に含まれるブドウ糖の量です。

食べ物が消化されて作られるブドウ糖は、膵臓で作られるインスリンというホルモンの働きで細胞に取り込まれ、エネルギー源として使われます。

しかし、インスリンの量が少なかったり、作用が十分でないと血液中のブドウ糖の量が増えてしまい、高血糖になります。

糖尿病かどうかを判断するための基準は以下の通りです。

～糖尿病と診断するための基準値～

- ① 空腹時血糖値 \geq 126mg/dl
- ② 75gブドウ糖負荷試験2時間値 \geq 200mg/dl
- ③ 随時血糖値 \geq 200mg/dl
- ④ HbA1c \geq 6.5%

上記①～④のいずれかが確認された場合糖尿病型と判定します。

その後再検査で糖尿病型が再確認された場合、

あるいは

上記①～④のいずれかを満たし(糖尿病型)、かつ次の

⑤か⑥が認められた場合、糖尿病と診断されます。

- ⑤ 糖尿病の典型的症状(口渇、多尿、多飲、体重減少)
- ⑥ 確実な糖尿病網膜症

〈糖尿病と合併症〉

そして血糖値が高い状態が続くと、自覚症状がないまま次第に全身の血管が傷ついていき、様々な合併症を引き起こしてしまいます。

細い血管の合併症に分類されるのは腎症、網膜症、神経障害です。

太い血管の合併症に分類されるのが動脈硬化です。

そのなかでも、心筋梗塞や脳梗塞、下肢の閉塞性動脈硬化症(末梢動脈疾患)などが挙げられます。

糖尿病患者さんの場合、動脈硬化にかかるリスクがそうでない人に比べ高く、糖尿病は動脈硬化性疾患の危険因子と言えます。

今回は太い血管におこる動脈硬化と、当院で行っている動脈硬化の検査について紹介します。

〈ABI・PWV 検査〉

ABI は血管の詰まり具合を、PWV は血管の硬さをみる検査です。
両腕、両足首に血圧計を巻いて血圧の比や、心臓から出て動脈を伝わる脈のスピードを計測します。



血圧計のカフが圧迫するだけなので
痛みはほとんどありません。
所要時間は 5～10 分程度です。

〈頸動脈エコー検査〉

まず頸動脈とは大動脈から頭部へ血液を送る大切な血管です。
この頸動脈にコレステロールなどが沈着した隆起物(プラーク)や血栓が無いかわかる検査
です。プラークが破綻して血栓が形成されると、脳の血管が詰まり脳梗塞を引き起こすおそれがあり
ます。



ベッドに仰向けに寝ていただき
首にエコーゼリーをつけてプローブと呼ばれる機械を
当ててみていきます。
所要時間は 15～20 分程度です。

合併症の発症、進展を阻止するために、糖尿病の治療を継続していきましょう。